

静岡ガス爆発についての講演会

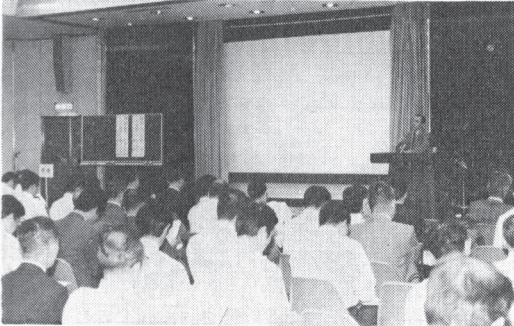
●安田火災記念財団／安全技術部

さる8月16日に発生した静岡駅前地下街のガス爆発事故をテーマとした防災講演会を9月26日(金)本社ビル2階大会議室において、安田火災記念財団と安全技術部との共催により開催しました。

タイムリーな企画であり(本事故をテーマにした防災講演会としては全国でトップを切ったものと思われる)、また、業界紙でのPRも手伝って予想以上の聴講者(約440名)が会場を埋めつくしました。

＜テーマおよび講師＞

① 「爆発・火災事故からの教訓——静岡ゴールデン地



講師も聴講者も熱の入った会場

下街を中心に」

東京消防庁予防部調査課原因調査係長 上原一雄氏

② 「爆発事故と民事責任——静岡駅前事故に関係して」

須崎・中村法律事務所 弁護士 中村光彦氏

聴講者は契約者、代理店、同業他社、算定会・協会そして当社職員と多岐にわたっていましたが、山梨、千葉、静岡支店管内からの出席者もあり、爆発火災を因とするさまざまな問題に対する関心の深さを反映して、防災講演会は大成功でした。

屋内消火栓操法大会で優勝

●事務本部

スピードと的確さを競う屋内消火栓操法大会が、9月24日(水)武蔵野消防署管内の事業所から21チームの自衛消防隊が参加して開催されました。

この大会は、ホースを消火栓に取りつけてから炎を形



イザというとき日頃の訓練がものをいいます

どった目標物に放水するまでの時間と的確性を競うもので、何よりもチームワークを必要とするものです。

時節がら各事業所とも力を入れており、年々盛んになっておりますが、当社(事務本部)からも男子1チーム女子2チームが参加し、男子チームは優勝、女子チームも2位・3位に入る輝かしい成果をおさめました。

特に女子チームは、全員がこの大会のために初めてホースをにぎった職員ばかりでしたが、日頃のチームワークのよさを発揮しての健闘で、この好成績をおさめることができました。

(柏山通信員)

新宿祭で協賛のイベント

●総務部

恒例の秋の「新宿祭」が去る10月4日(土)より10月16日(木)まで開催されました。

当社も協賛イベントとして、4日(土)・5日(日)の2日間、三井55ひろばの一角を陣取り、バイオリズム診断、並びに似顔絵コーナーを実施しました。バイオリズム診断は、自サ管理部の応援を得て約800名診断し、チャリティ似顔絵は早稲田大学漫画研究会の4名に協力い



好評だったバイオリズム診断

いただきました。

両日とも天候に恵まれ物珍しさも手伝ってか、押すな押すなの大盛況。折りしもエコノミー車両保険発売当初でもあり、PRも大いに兼ね、有意義な2日間となりました。

河上記念財団懸賞論文に佳作入選

●調査部

調査部主任待遇猪又治平さんは、河上記念財団による「第21回懸賞論文—法律の部」に、論題「不法行為被害者救済制度の課題」にて応募し、最近特に問題となっている食品・薬品公害その他各種の製造物責任と消費者の被害という問題に対して損害保険による救済制度を論じて、社会人応募者の中からみごと佳作に入選され、9月12日、授賞式が行われました。

河上記念財団は、日本興業銀行元総裁・故河上弘一氏を記念して、青年層における学術研究の奨励を目的とし、研究助成金の交付、懸賞論文の募集、その他の事業を行う伝統のある財団です。

なお、当懸賞論文の審査員・入選者氏名・論題等は、ジュリスト722号(1980年8月1—15日合併特大号)210ページに掲載されています。